

# ◎ ネイチャーなら

《わたしたちは大和の自然を愛します》

発行2012年8月1日

8月号・第127号

奈良・人と自然の会

会長 藤田 秀 憲

## Contents

地域環境保全功労者表彰受賞	(1)
リレー随筆	(2)
イベントレポ・1	(3)
イベントレポ・2	(4)
Monthly Repo.ならやま	(5)
里山の今・自然観察レポ	(6)
やさしい昆虫講座②	(7)
鳥シリーズ&地域情報	(8)
美味句感	(9)
奈良学&難読野菜名クイズ	(9)
自然俳句	(10)
癒しの散歩道	(11)
ならやま茶論	(11)
青垣春秋	(12)
ならやま景観整備	(13)
情報BOX	(13)
行事案内・9月例会予告	(14)
幹事会報告	(15)
ペン画に寄せて・編集後記	(15)



# 地域環境保全功労者表彰に輝く

環境大臣賞受賞

地域の宝物を目指した景観構想を！



顧問 阿部和生

この度【地域環境保全功労団体】として環境大臣賞を授与されました。会創設以来のさまざまな活動実績が対象となり評価されたもので大変な栄誉です。受賞は誇りであり励みですが、これからへの激励でもあります。まず第一に継続した活動が望まれ、さまざまな取り組みの一層の充実が考えられます。その上で独自のものを生み出してゆきたいものです。

これからの進路の一つは、立地条件を生かした一帯を、豊かな自然と接しうる「地域の宝物に変身させる取り組み」ではないでしょうか。

周辺部の歴史的な遺産を包括した「文化的都市林」とでも言いましょうか、自然と向きあえるこの地を訪ねれば、心の安らぎを得て、明日への活力が生まれる一帯への推進に向かって、知恵を見いだそうではありませんか。会員の皆様のマンパワーの集結がその源です。



事務局長 塩本勝也

風致景観課の山菅課長、坂野係長のご案内で、お忙しい中、くらし創造部長影山清氏、次長上山幸寛氏にお会いできた。お二人は当会の活動について良くご存じで、「本当におめでとうございます」とお祝いの声を掛けて頂いた。藤田会長も「先輩達の努力が認められ当会一同大変喜んでおります。また今後の活動のため大いに励みになります。」とお礼を述べられた。

影山部長は、くらし創造部の広い領域から、健康増進のための道路活用法など、また藤田会長は表彰式の様子などの話題で盛り上がり、同席させて頂いた私も大いに感激しました。

ならやまの景観に対する県の考え方、ボランティアとしての当会の思いを摺り合わせていくことが重要であり、更に学の力を借りて、ならやま全体の景観、その活用についての構想作りが早急に必要ではないかと、ふとと思っているうちに歓談は終了した。



## 冠動脈バイパス手術

弓場厚次

天皇陛下が2月に東大病院で、心臓の冠動脈バイパス手術を受けられました。昨年2月の検査から、此の1年で冠動脈の狭窄が更に進行し、治療には東大と順天堂大の合同チームで、執刀医は心臓外科の第一人者の順天堂大の天野 篤教授を中心に、2月18日に実施されました。冠動脈の左冠動脈の前下行枝と回旋枝の2本の動脈にご自身の内胸動脈を使用してバイパスが連結された様で、手術後の回復はリハビリも順調に進み、陛下はご無事に3月4日ご退院され、5月にはお元気に震災被災地や英国を訪問されました。

長年、続いた私の不摂生も冠動脈に溜まり、2月の志賀高原・五輪コースでスキー滑走中に胸部の不快感・息苦しさを味わい、掛り付けの主治医から「狭心症」の疑いでニトロ剤のテープを処方されました。4月に「狭心症」の検査で高の原中央病院・循環器内科で心電図や冠動脈CTスキャンの画像診断を受診し、石灰化した冠動脈の画像より『狭心症』を覬念致しました。5月15日より冠動脈の狭窄部位に心臓カテーテルによるステントを留置する、3泊4日の軽い気持ちでの入院でした。手術も局所麻酔でカテーテルは左手首の橈骨動脈から挿入され、手術中は主治医の会話も聞こえましたが、冠動脈の動脈硬化が進行し、ステントの留置は無理との判断で、手術場を近畿大学医学部奈良病院救急救命センター心臓血管外科に移り、全身麻酔による冠動脈バイパス術に変わりました。術後は不整脈や胸水の発症も無く、5日間のICU滞在から一般病棟での心臓リハビリも進み、6月3日には無事退院する事が出来ました。

年齢を重ねますと誰でも動脈硬化は進み、『沈黙の殺人者』と呼ばれます。手遅れにならない様に、平素はご自身の健康管理と定期健診を欠かさない様に受診致しましょう。

## 身辺雑感

田中惲英

今年になって、身の回りの電気製品が相次いで壊れだした。3月に10年程前に買ったコンパクトステレオが壊れた。MDへの録音ができなくなったのだ。メーカーが言うにはかなり前に生産終了となっているし、見ないと修理ができるかどうか分からぬと。また調べるだけでも代金が発生し、更に修理代金がかかると。やむなく新しい物を買うことにした。電気屋に出向き売場を見て回ったがMD装置付のコンポは2機種しかなかった。MDウオークマンも調子が悪かったので、ついでに買うかと探したが、どこにも見当たらず。MDディスクもやはり売場から消えていた。その時、私が急速な技術の進歩に遅れを取っていることに気づいた。時代はすっかり変わっていた。今、音楽はディスクやテープのような媒体に録音するのではなく、マッチ箱サイズの装置の中のメモリに数百時間でも録音ができるのだ。カセットテープもあと数年で消えてしまうだろう。私は時代の流れに従いカセットテープレコーダー、MDウオークマンをICレコーダーに乗換えた。

5月にはノートパソコンが壊れた。メーカーに症状を言うとHDが損傷している。昨年7月で部品保有期間が終わっており、修理できないと。買換えて無線LAN接続にした。

6月にはプリンターがやられた。この7月末で修理できる期間が終わるが今予約すれば修理できる。但し宅急便往復と修理代で1万円位掛かると。無線LAN対応のプリンターに買換えようと思っている。次は何がくるか？

昔とった家族の8mmフィルムをビデオテープにして残している。テープデッキもいづれなくなる。DVD化しHDに入れようかと思案中。パソコンやプリンターが5年位で壊れるのは速いと思うが、世の中の変化に追いつくにはいいタイミングだ。今はまだ使っても古くなったものは更新していかないと世の中から置いてきぼりを喰う。携帯電話も6年目。買換え時かなと思いつつ、でも勿体ないとまだ使っている…。





### 「葛城氏の歴史を歩く」

- ◆実施日 7月10日(火)  
AM 9時30分近鉄御所駅集合 参加者33名、
- ◆行程： 鴨都波神社→一言主神社→  
長柄小学校→長柄神社→室宮山古墳  
(昼食) →風の森→高鴨神社→かもきみ  
の湯→解散

梅雨の合間のいいお天気の日、古代に大  
王家を凌ぐ力を持っていたとされる葛城氏の  
足跡を尋ねて葛城古道を歩いた。御所駅近く  
の鴨都波神社に集合し、今日のコースの説明  
を聞く。この辺は鴨族と呼ばれる一族が住ん  
でいたようで、やたらと鴨の付いた地名が多  
い。御所駅に戻りコミュニティバスに乗り、  
一言主神社に向かう。ここは地元では、いち  
ごんさんと呼ばれ、良いことも悪いこともひ  
とことだけ聞いてくれるという神様である。  
仁徳天皇の皇后磐之姫が、実家をしのんで歌  
った葛城高宮はこのあたりか。境内には大き  
な銀杏の木があり、乳瘤が有名だが樹勢が弱  
り、枝を大きく伐採されていたのは少し残念。

長柄神社から長柄小学校にある遺跡を見学  
し、かつらぎそつひこ葛城襲津彦の墓と言われる室宮山古墳へ  
歩く。古墳は宮内庁管轄外(天皇陵に指  
定していない)なので自由に見学できる、頂上



▲宮山古墳の石棺、穴は盗掘の痕



▲一言主神社にて

には石棺も露出しており、盗掘の穴から中も覗  
ける。古墳には複数の人が埋葬されており、葛  
城一族の墓とする説が有力である。葛城氏の祖  
とされる襲津彦という名であるが、襲は勇敢な  
という意味である(熊襲などと同じ)、彦は男  
を表すので勇敢な男という意味か、朝鮮半島に  
渡り新羅や伽耶を攻めたという記録が、朝鮮の  
史書に残っているので実在の人物らしい。当時  
は朝鮮半島との関係は、現在よりずっと緊密(い  
い意味でも悪い意味でも)で、倭国は度々遠征  
軍を派遣している。この室の辺りは秋津島とも  
呼ばれている、日本の別称である秋津島あきつしま  
みずほのくに瑞穂国を実感させる、葛城山系から流れる豊  
富な水を取り入れた水田が美しい。



▲全国鴨社の総元締め高鴨神社

次回の歴史文化クラブは9月12日 古事記  
編者太安万侶を訪ねてです。(文責 杉本)

～森林体験山もり・てんこ森～

『昆虫観察と自然工作』

奈良県山の日・川の日普及啓発推進事業  
2012年7月16日(月・祝)  
(於：奈良県立野外活動センター)  
(主催：奈良県農林部森林整備課)

- ◆参加スタッフ 男性11名・女性4名
- ◆出展内容
 

竹を使った自然工作	水鉄砲	100名分
かみトンボ		150名分
ブンブンゴマ		100名分

イベントレポート②

7月21日(木)、奈良県との協賛で「昆虫観察と自然工作」のイベントを実施した。児童・園児30名とその保護者20名が参加された。天候は、午前中は晴れていて予定通りの内容を実施できたが、午後は1時半ごろから雨が激しく降り出したので、自然工作は途中で打ち切ることになった。

午前中、山ではチョウやバッタ、シオカラトンボ、カナブンなどを採集し、池ではザリガニやドジョウを手でつかんで楽しく過ごした。

昼にソーメンを食べた後は、自然工作の竹を使った水鉄砲作りをした。ほとんどの子供たちが初めてノギリで竹切りを体験。最初はゆっくりだった手つきも、すぐに力強くなっていく。あっという間にコツをつかんでいく。作った水鉄砲で、ドクロマークなどの絵を描いた的を掛けて水を飛ばす。



砂利の坂道をリヤカーに材料を満載し、男性数人が汗だくなりながら会場まで押し上げ準備完了。



家族の人が見守る中、盛況に始まりました。竹を鋸で、初めて切る体験は、子ども達には感嘆。ブンブンゴマ・紙トンボはみんなで作成。



さあ、うまく的に当たるか頑張りましょう



水鉄砲等・材料がなくなりキャンセルするほど、大盛況で、紙とんぼ・ブンブンゴマもなくなり大成功のうちにイベント終了する。

(田中 修 記)

山と森林の月間・協賛



そのうち動く「塩本人形」が飛び出して、子供たちの興奮が最高潮に達したところで、残念ながら雨脚が強まったので、紙トンボと紙コプター作りは、サンプルの実演のみで終わりにした。

最後、ジャンケンに勝った子供は、予め採っておいたカブトムシも手に入れた。

(羽尻 嵩 記)



## Monthly Repo. ならやま

◆ 6/21 (木) 雨 活動中止

◆ 6/28 (木) 曇り 49人+6人

朝礼と体操の後1時間ベースキャンプ周辺及びならやま会館前の一斉清掃を行った結果、宝物?がいっぱい集まった。

雑草の伸びが著しくベースキャンプ周辺の除草、畑地の除草に追われる。

カシノナガキクイムシの粘着トラップをならやま里山林に33箇所設置。

先週雨で流れた「じゃがいも祭」を実施。ならやまで収穫された赤米、ジャガイモ、ニンジン、タマネギを利用した美味しいカレーライスに舌鼓をうった。ならやまの野菜が当たるラッキー賞遊びも行われた。

先般放流したニッポンバラタナゴの産卵が確認され、関係者は一安心。

◆ 7/5 (木) 曇りのち雨 34人

前日の予報で雨50%、当日朝では雨60%、午前中は降ったり止んだり、午後は雨となったので活動は2時で中止。

7月16日の奈良県立野外活動センターでの奈良県「山と森林の月間」行事に出展するため、工作用とバームクーヘン作り用の竹の切り出しと工作の下準備。

農園はナス、ピーマン、ニンジンなどの収穫と除草で猫の手を借りたいほどの大忙し。

カシノナガキクイムシのトラップ調査の結果は、幸いにも本命のカシノナガキクイムシは確認されず一安心。その代わりにトラップにはナナフシ、ゴキブリ、大きなアシダカグモなど森林の主たちが捕まっていた。



私たちの里山保全の活動が認められ、環境大臣より平成24年度地域環境保全功労者表彰を受けたので表彰状が披露された。

◆ 7/12 (木) 雨 活動中止

◆ 7/19 (木) 晴れ 53人

7月21日にならやまで行う「山と森林の月間」行事、昆虫観察と自然工作に向けて工作材料となる竹の切り出しと事前準備を行った。

カシノナガキクイムシの粘着トラップを「ならやま自然の森」の観察路沿いに12箇所、新たに開発する地区の松林に2箇所、追加設置した。先週の活動が雨で中止になったことから雑草の勢いが増し、農園、彩の森、ビオトープ池周辺は草刈りに追われる。



佐保台小学校5年生の児童が5月に自分達で植えた稲の生育観察にやって来て、草丈や本数などを楽しそうに調べていた。

暑さが一段と増し、ならやまの活動も今日から午前中のみになることになった。

◆ 7/21 (土) 晴れのち雨 24人+50人

奈良県の「山と森林の月間」行事として、ならやまベースキャンプ周辺で昆虫観察と水鉄砲作りを行った。農園一带には終日子供たちの元気な声が響き渡っていた。しかしトンボやチョウやバッタにとっては厄日であったことと思う。

(文責：木村 裕)



# 里山の今

## 自然観察レポート

### \* ペタキン日記 \* 羽尻 崇

6/28 (木) 曇のち晴。 朝9時前の気温26℃、  
水温22.7℃、pH6.5

ペタキンの産卵期は6月ごろ。メスはオスに誘われてタガイの鰓の排水管に産卵し、オスの精子が入水管から入って授精が行われる。

この日、近大の調査班の学生たちが、タガイ15個体の中に156個の受精卵があるのを確認した。私もカイの中の卵を見せてもらったが、1mmにも満たない卵がびっしりと産み付けられていた。

7/5 (木) 曇時々小雨。

朝9時前の気温28.1℃、水温22.5℃、pH6.8

田中さんがモンドリを2つ追加してくれたおかげで、上段・下段ともザリガニがたくさん捕獲できるようになった。(これでザリガニ一網打尽だと思ったのもつかの間、その後も格闘が続いている。どこから湧いてくるのか。) そのモンドリに、この日の朝、なんとオス3・メス2のペタキンが入り込んでいた。放流後初めて見るペタキンの姿だ。メスは産卵管をだし、オスはバラ色の婚姻色に輝いていた。これで一安心。



### \* ならやま花だより \* 吉村さつき

7/5 (木)

西側の畑の土手に白くて傘が分厚い見た目はふんわりとした感じのキノコが30個程重なるように出ていました。測ってみると直径20cmもあります。オオシロカラカサタケで猛毒だそうです。キノコは誰でも一度は食べられると言いますがあの世からのお迎えになると大変です。知らないキノコはむやみに触ったり食べたりしない様に気をつけましょう。



▲オオシロカラカサタケ

- [草花] アザミ、ヒメスイバ (雌花・雄花)、ヒメヤブラン、ヤブジラミ、ツユクサ、エノコログサ、オオバコ、ヒメジョオン、ドクダミ、ヨウシュヤマゴボウ
- [木の花] アジサイ、シモツケ、リョウブ
- [花壇] ヒメヒマワリ、グラジオラス、コスモス、ホタルブクロ、タチアオイ、ヒオウギスイセン、ユウゲシヨウ、ハナビシソウ、百日草、キキョウ、ハンゲシヨウ、オオバギボウシ、ヤブカンゾウ
- [ビオトープ付近] カヤツリグサ、イ、イヌビエ

### \* ならやま鳥だより \* 小田久美子

菊川さん田中さんと3人で16種35羽を確認しました。佐保山辺りでホトトギスが繁殖しているようです。

【8月のバードウォッチング】8/13(月)です。

## やさしい昆虫講座②②

木村 裕



### お騒がせしています！

「せみせみせみせみせみせみせみ・・・」

毎日お騒がせをしております。夏の風物詩と言えば聞こえはよいですが、皆様方にはうるさくて暑苦しいことと思います。しかし私たちセミ族男性にとっては、非常に重要なセレモニーで多くの女性を引き付けるために美声を張りあげています。いい声でしょう！

「シャア、シャア、・・・」と声がやけくそに大きいのはクマゼミさんで、近年温暖化とともに増加しています。まるっきりの都会っ子で大阪市内の公園では最も勢力を伸ばしています。クマゼミでなければセミでないとされるくらいに幅を利かしています。奈良でも市内の公園や住宅地で勢力を伸ばし、アブラゼミと激しく競り合っています。晴天の日なら午前中に大声を張り上げ、午後は静かにしていますが、午前中が曇りか雨のときには喉の訓練のため午後にも発生練習をします。

我がセミ族で最も早く現れるのはハルゼミさんですが、最近ほとんど姿が見られなくなっています。マツ林が縄張りですので、宅地開発や松枯れでマツ山が少なくなったのは痛いです。マツの多い奈良公園で5月頃に注意すれば見つかるかと思いますが、ここしばらくお会いしていません。

やや小型のニイニゼミさんは、昔は主流でしたが最近では少なくなっています。成虫はサクラやマツの幹が大好きですが、メタセコイアの幹にも抜け殻が多いことから幼虫はメタセコイアの根にも好んで寄生しているものと思います。

「カナカナ・・・」と鳴くヒグラシさんは少し山手に入れば普通に見られます。8月頃矢田山丘陵や春日山の杉林にはいっぱいおられます。スギの幹に止まっていますので簡単に手づかみでとれます。



アブラゼミさんは奈良ではもっとも幅を利かしていると思います。暑い日中は避けて、朝の涼しい頃と夕方にコンサートを開きます。奈良市内の公園、住宅地では抜け殻がいくらかでも見つかります。

ツクツクホウシさんはセミ連合の合唱が収まりかけた8月中ごろから秋がもうすぐやって来るよとばかりに鳴き始めます。

ミンミンゼミさんはそれほど多くはありません、付近の低山地の林で見られます。チッチゼミさんは8月の終わりから9月に発生しますが、なかなか姿を見せません。

期間限定の合唱会を終えた私たちセミ仲間は、次々に力尽きて地上に落下しますが、その頃にはメス成虫は、尾端のノコギリで枯れ枝を切り裂いて穴を穿って1個ずつ産卵を終えています。

ニイニゼミなど小型のセミさんは、その年の秋雨の降るころ、一方アブラゼミなど大型のセミさんは、卵のまま冬を越して翌年の梅雨の頃に孵化します。

枝上で孵化した幼虫は、高くて足がすくむような所でも、一気に地上に飛び降りて地中にもぐります。そこから先は暗闇の世界で樹の根から養分を吸って成長します。小型のセミ仲間は2~3年後に親になりますが、大型のアブラゼミさんでは、7年もかかってゆっくり成長します。アメリカには、17年毎または13年毎に発生する周期ゼミが3種類います。それぞれ発生年には、足の踏み場もないほど発生しますが、それ以外の年には発生しません。

我々セミ族は、成虫も幼虫もすべて樹木にお世話になっていますが、沖縄にはサトウキビにすべてを依存している1.5cm前後の小さなクサゼミさんがいて、農家の方には迷惑をかけています。申し訳ありません。



# 鳥シリーズ



## ホトトギス

小田久美子

今年は6・7月のならやまバードウォッチングや、6/13の佐保台小観察会の時に、近くでホトトギスが良く啼きました。我が家の周りでもよく聞き、そのメモを見ると6/11が聞き始めて7/10が聞き納めでした。託卵は成功したのでしょうか。愛犬マリリンが17歳半になり、夜中や明け方、彼女のために私の目が冴えることが多くなりました。そんな時、いつ目覚めても「ホトトギス!! ホトトギス!!」と啼き渡っています。一日中啼き廻っているので「いつ眠っているのかしら」と、自分の寝不足より気になる一ヶ月でした。「鳴かぬなら殺してしまえ」と短気な信長さん。「鳴かしてみせよう」と人たらし秀吉さん。「鳴くまで待とう」と忍耐強い家康さん。

三人の性格を言い表す歌は有名ですが、信長の四男信高の末裔だと話題になった、フィギアスケートの織田信成さんは、「鳴かぬなら それでいいじゃん」と詠んで話題になりました。昔から沢山の異名があり「冥途鳥」「魂迎鳥」などと気味悪い鳥とされつつも、『万葉集』には「呼ぶ子鳥」として沢山詠まれ、断然トップの人気鳥です。弓削皇子の「恋ふる鳥でしょうか」の返歌に、額田王が詠んだ「古に 恋ふらむ鳥はほととぎす けだしや鳴きし 我が恋ふるごと」は、万葉歌の中でも好きな歌の一つです。



## 地 域 情 報

### コシアカツバメ (斑鳩)

◆5・6月とツバメの巣を探しました。あるところでは、昨年使われていた(6つ)が全部使われず、6月中旬になってやっと新しく巣を作りヒナが3羽育っています。6月26日親が餌をやりに来た瞬間を撮ろうと待ち構えていました。あっという間で、失敗!!その後1羽のヒナのとった行動が・・・他のヒナの上で羽を広げ方向転換。しっぽを巣の外に出したかと思った途端、ポトリ!ピンクのお尻の穴から糞が落ちてきました。失礼ですが、バッチリ撮ってしまいました。目が開いたかどうかのヒナがこんな行動に出るなんて・・・。巣の中は綺麗にしているとは聞いていましたが、目の前の出来事で確認しました。(今年は私達の近くでは、子育ては4か所でしか見ていません。)

◆今年はやっぱり変?ビワの実は3個・サク

ランボは豊作!!例年ビワは実を鈴なりに付けます。でも、今年は花はいっぱい咲いたのに、さてと上を見るとたった3個しか黄色の実がありませんでした。冬のメジロの少なかったせいで結実しなかった?反対にサクランボはいつもならヒヨドリと早起き競争で実を採らないと口には入らないのに今年は鈴なり。これってやっぱりへんですよね。(三郷町)6月23日コシアカツバメの巣を見に行きました。文化センター駐車場の天井です。中が見えないので分かりませんでした。2羽の親が交代で中に入っていました。あんなに狭い巣の中なのに頭から入って方向転換してすぐに出て来ました。ヒナ等の中の様子を見てみたいと思いました。



(勝田)



自然をちょっぴり  
いただきま〜す!!

**タチアオイ**

西谷 範子



カメやモズク、きのこなどと酢の物にしたり、ゼリーなどのお菓子にも使える。タチアオイは白花もあるので、手に入れば2色の飾りができて楽しい。どれも遊び心満点の料理になる。オクラの実を板ずりして、さっと茹でてきざみ、花と一緒にサラダやポン酢で和えたりすると、親子丼ならぬ親子和え

花畑の東の隅に、突如背の高い赤いタチアオイの花が咲くと暑い夏のはじまり。薄い花びらが重なり合ってバラのようだが、アオイ科の多年草で、ムクゲ、フヨウ、オクラも同じ仲間。どの花も食べられるが、オクラは実を食べるオクラとは別に花オクラというものもある。

オクラの実から想像できるように、どの花も少しトロツとしてぬめりがあり、味もよく似ている。またどれも一日花なので、その日の花を使いたい。もちろん夕方落ちた花もOKである。大きな花びらは生のままで小さなおにぎりを巻いて手巻き寿司にしたり、チーズ、ハム、かまぼこなどいろいろなものを巻いてきれいな一品を作る。

花びらを採ったら、さっと茹でて甘酢につける。それを料理の付け合わせにしたり、ワ

となる。

赤い花も黄色い花もさっとゆでて甘酢に漬けると色は薄くなる。

同じアオイ科でハマボウという花をご存知だろうか？ 海岸や沖縄など暑い地方に繁殖する木で、兵庫県の成ヶ島にこれの大木が群生している。真つ黄色の花が沢山咲き、木の下には一日花が沢山落ちていて。この花びらを拾い集めて蜂蜜漬けにすると、鮮やかな黄色のジャムができる。

私はこの色を見て、染料として使えるのではと思い、花を沢山拾い集めてきて、煮て布を染めてみた。自然の草木染なのであのような濃い色にはならなかったが、はんかち程度ならきれいに染まる。相当沢山拾ってきた積りで、少し大き目の布を染めたので、染料が足らずまだらになって笑われてしまった。

**奈良学**



**難読野菜名クイズ**

- ① くわんのの しろきひたひに やうらくの かげうごかして かぜわたるみゆ
- ② ふぢはらの おほきさききを うつしみに あひみるごとく あかきちびる
- ③ あめつちに われひとりみて たつごとき このさびしさを きみはほほゑむ



ある文豪が古寺を訪ねた時の印象と考察を、「その美しさは、天平の観音のいずれにも見られないような一種隠微なこわりよく 蠱惑力を印象するのである」と書いています。

【問1】この文章は、①②③の短歌に詠まれている仏像のうちのいずれを表現したものですか。また、仏像の正式名と安置されている寺院名をお答えください。

【問2】①②③の短歌の作者が、初めて奈良に旅行したのは西暦何年ですか。

※ 応募締切は、8月5日・午後8時 ※

【問3】次の野菜名の読み方を、指定された文字数のひらがなでお答えください。

- ① 陸蓮根 (3文字)    ② 塘蒿 (3文字)
- ③ 和蘭芹 (3文字)

◆全問正解の方(1名)に、奥飛騨名産の伝統野菜を進呈します。(正解者多数の場合は厳正な抽選により決定)

◆正解者のお名前は、[ネイチャーなら]第128号・9月号に掲載します。

◆応募方法は、メール(編集チーム・鈴木宛)でお願いします。

六月の婚姻色のバラタナゴ 川井秀夫

六月の放流会。七月には産卵が確認される。関係者の苦勞が実る。雄の虹色が印象的。

葉のかげに<sup>なすび</sup>茄の太るかくれんぼ

川井秀夫

ナスの作柄が順調。適度な雨に恵まれ、防虫効果も良く、関係者の苦勞が報われる。

夏草の刈り残したるうしろ髪

川井秀夫

里山 刈払隊奮闘。雑草との葛藤が続く。無理は禁物。また明日があるさ。

段丘の植田にしるべ「風の森」

川井秀夫

葛城山麓には弥生期からの稲作文化が残る。古代の大和もかくありしや。風の森とは風雅。



自然俳句

監修 川井秀夫

土あげび妖しく咲いてカムの杜<sup>もり</sup> 古川祐司

六月例会。下見における一景。珍種の開花を発見。作者の鼓動の高鳴りが伝わる。カムはカモ・カミと同一語。

石棺の穴を覗くも蚊に好かれ 川崎かづえ

六月例会 葛城のみち。室宮山古墳の石室を覗く。蚊蚊のご挨拶。

あぢさゐの絵手紙届くにわか雨 鈴木末一

季節の便りが届く。郵便受に一瞬の雨。あぢさゐには雨が似合う。にわか雨の措辞が利く。

あぢさゐ<sup>した</sup>紫陽花のキラリと滴つ日照雨かな 鈴木末一

日照雨は、昔「狐の嫁入り」と言われた。雨上がりの鮮やかな一景。季節の情感の一句。



### ハイビスカスの嘆き



谷川 萬太郎

喉が渇く程に眩しい太陽と光る海  
降りしきる季節はずれの暴れ馬よ  
時節に背いた窓の外は涙雨辛く

そして豊かな自然の香りにめぐり逢いたい  
滴る雨に胸を痛め小さな夏が泣いている  
悲しみのない自由な空と優しさ欲しいから

今日まで煌く星座を追いかけて  
哀しみの向こうに入道雲が湧き  
壊れかけた明日への願い胸に

季節の山河を乗り越えて辿りつく日は近い  
やがて生まれ変わる惜しみない季節の君  
いつのまに掛け替えのない空が青く広がる



### 「幸せの中で」



竹本雅昭

～夕暮れ～

カラス：明日、きっと彼女の心を掴むよう  
銘文を考えよう。

“黄昏が森の緑を消す時、星を数え  
ながらねぐらに帰る。明日も素敵な  
衣装で歌い希望の夢を…”

うん？誰かの盗作かな… ムニヤム  
ニヤ グウグウ

～朝～

カラス：今日は彼女に絶対求婚するぞ!!

桑の木：おいおい気負うのはいいけど、こ  
こでトイレはご免だぜ。

カラス：大丈夫、もう済ませてきたから。  
昨日はうんのご馳走だったから翼  
の光沢もいいはずだし目もいきい  
きしてる。よし、人々が満水にし  
てくれた隣の池で確かめよう。

桑の木：全身真黒でどこも変わらないように見える  
けどなあ。

カラス：いやいや、他の者にはそう見えても微妙  
に違うんだ。我々若い者はしょっちゅう  
池に姿を写して、羽根のつくろいとか光  
沢とか、嘴に食べカスがついてないかな  
ど気にしてるんだ。

～夜～

カラス (新郎)：「ア・アー」ついにやったぜ、幸  
せだなあ僕は、一生大事にするぜ。

カラス (新婦)：「カーカー」赤ちゃんができて、  
赤い帽子や赤い靴をせがまれたらどうし  
よう…。





**隠れ古社寺 ひとり旅**  
 ～巖島・五百立・子安神社～

歴史文化クラブ  
 川井秀夫

本欄に、編集部のご了解を得て寄稿の無い空き月に、私のすさび（遊び）として執筆させて戴くことになりました。長年、古都を歩いていると新しい発見があります。特に観光ルートを外れると、ひっそりと歴史を語る古社寺に遭遇する事がしばしばです。

そんな風景をスケッチして、拙文ながらご一読願えれば幸いです。

**人知れず裏の山にも花のあり**

東大寺の南大門をくぐると、大仏殿の偉容が目に入る。ならびと達は幾度か見慣れた風景である。

大仏殿の西寄りに鏡池がある。その西中央に突出した中島があり、樹間の中に朱塗りの鳥居と社殿が見え隠れする。池端に鉄扉があり近づくことはできないが、社の雰囲気伝わってくる。

名は巖島神社。「鏡池の弁天さん」とも。大仏再興の頃の奈良町の絵図に登場する古社である。巖島とは安芸の宮島の造りに似せて名付けたのだろうか。音曲の神である弁財天を背に東大寺の大法会の際には水上舞台となり、慶謝芸能の公演が奉納される。桜・紅葉の季節には、被写体の格好の場所となり、カメラマンが集う。

大仏殿正面の手前、東の小道に入る。観光客は見向きもしない古社がひっそりと鎮座する。



五百立神社（イホタチと読む）で、番匠社とも呼ばれている。この辺りの丘を五百立山の名があり、大仏さんの寺域に山があるなどとは、お釈迦様でもご存じあるメー…。筆者もびっくりである。

1056年。東大寺文書に登場するが、延喜式の神名帖にも載る格式社である。室町期の「大仏縁起絵巻」などによると、大仏殿創建に携わった工匠500人余りは羅漢の化身で、落慶と同時に元に戻って五百立山から飛び立ったという伝説があり、その羅漢を祀り建立したと伝わる。社名は五百羅漢を想定したものであろう。

江戸期には大仏殿再興の工人たちに崇敬され、度々棟梁によって改築され、現社殿は金属板葺きの春日造りである。

大仏殿正面を左にとり、西側に出ると低地部に大仏の指図堂に隣接した白壁の土塀に囲まれ、瓦葺き春日造りのお社がある。子安神社である。



富貴社とも呼ばれ、東大寺の祖 良弁僧正が相模の国から来た母を住ませ孝行し、その母を祀ったとされる。

この説話によって二月堂の鬼子母神と共に安産と子育ての神として、今も人々の信仰を集めている。

東大寺の広い境内に点在する小社は見逃し勝ちだが、歴史の中に失われたものが多いものの、神仏習合の名残りが息づいている。

この日、更に二月堂を目指したが、突如あばれ梅雨の襲来に合い、坊舎の軒端で暫し足止めを食う。

今回は二月堂周辺の神々を訪ねます。



## ならやま景観整備 & 情報BOX

### ◆ ならやま活動予定日 ◆

8月	2日(木)	9日(木)	16日(木)
9月	23日(木)	30日(木)	
8月	6日(木)	13日(木)	20日(木)
9月	27日(木)		

◆場所：奈良市奈良阪町・佐紀町の県有林  
[ならやま会館前道路（ならやま大通り）の南側に広がる里山林地]

◆集合：現地ベースキャンプ地・am 9:00

◆終了予定：pm 3:00

◆アクセス：

- ① J R 平城山駅下車、東口から南へ徒歩10分
  - ② 近鉄奈良駅・バス13番乗り場  
8:22発、高の原行き（平日）
  - ③ 近鉄高の原駅・バス1番乗り場  
8:22発 J R 奈良駅行き（平日）
- ②③とも「佐保台西口」又は「平城大橋」で下車 徒歩7分



◆携行品など：弁当、飲み物、軍手  
(作業用具は現地で用意)



◆環境保護のため、お椀、箸、コップなどは各自ご持参下さい。



◆連絡先：木村 裕



## ならやまバードウォッチング



◇日時：8月13日(月)午前7時集合  
※5月～8月は夏時間(7時)です。※

◆集合場所：ならやま駐車場

◇小雨決行：判断の難しい時は  
担当者に・・・。

◆連絡先：小田 菊川

## 8月例会 「夏季自然研修会」



植物園観察・里山に関する講演  
& 自然史博物館見学

「長居植物園」と「大阪市立自然史博物館」を訪ねます。「長居植物園」では、自然教室チームの皆さんのご案内で、夏の花や樹木を観察。

「大阪市立自然史博物館」では、同館主任学芸員の佐久間大輔先生に、『里山はどう使われてきたかー利用の歴史から考える』というテーマでご講演をいただきます。今までの視点と違った新鮮な切り口のお話をお聞きできると思います。その後、「自然のしくみ」「自然の歴史」「人と自然の関わり」について展示されている同館を見学します。

有意義な夏の一日になると思いますので、たくさんの方のご参加をお待ちしています。

◆日時：8月29日(水)10時～15時(小雨決行)

◆場所：「長居植物園」内「大阪市立自然史博物館」(地下鉄御堂筋線「長居駅」3号出口・園内東へ800m)

◆集合：「長居植物園」「自然史博物館」入口(正面ゲート前広場)午前10時  
(通し入場料 300円)

◆スケジュール

- 10:00～12:00 長居植物園 自然観察
- 12:00～12:45 昼食(植物園内木陰)
- 13:00～14:15 講演・佐久間大輔先生
- 14:20～15:00 自然史博物館見学

◆担当 藤田秀憲：  
寺田 孝：



(読者の感想より)

会報誌は従来よりまして話題が豊富となり、またホームページがリニューアルされて、美しいカラーとともに写真等が鮮明になり、興味を引くものになったと思います。

内容をさらに充実させ、特にホームページは会員だけではなく、多くの方々への情報発信窓口として、大いに活躍してほしいと思っています。

# 行 事 案 内



## 秋の自然観察会

**\* 明日香のつる植物と  
案山子を訪ねて \***

9月の例会は明日香を訪ねて、つる植物を中心とした植物観察と案山子の観賞を楽しみたいと思います。担当は自然教室チームです。

自然と歴史の豊かな明日香の観察会へ是非ご参加ください。多数の皆様のご参加をお待ちしています。

◆日時；9月25日(火)

10時～15時

◆場所；高松塚古墳～  
～稲淵～石舞台古墳

◆内容；

- ①高松塚古墳近辺を中心につる植物の観察
- ②ヒガンバナほか秋の植物観察
- ③案山子の観賞など

◆集合；近鉄飛鳥駅前10時集合  
詳細は9月号でお知らせ  
します。

◆連絡先：倉田：  
平岡：



歴史文化クラブの9月研修会は、「太安万侶の聖地を訪う」をテーマに実施いたします。古事記の編纂者、太安万侶を祀る「多神社」は田原本町にあり、今なお直系の多氏が宮司を務められています。この一帯は古くからの稲作地帯で、近くには弥生時代の大環濠集落「唐古・鍵遺跡」があります。また安万侶の火葬墓は昭和54年に田原の茶畑（奈良市此瀬町）で墓碑銘板と共に発見され、これが古事記偽書説を覆す決め手ともなりました。

今回は、これらゆかりの場所を巡って、太安万侶の活躍した時代を想起したいと思います。

「唐古・鍵遺跡」は国の史跡にも指定され、隣接するミュージアムには豊富な出土品が展示されています。また、橿原考古学研究所付属博物館は、室宮山古墳の出土品等がメイン・コーナーに展示されていますので、この機会に足を伸ばし、7月研修会のフォローアップとします。

今回は、道路事情もあって、マイクロバスを利用しますので、人数は28名まで、原則として歴史文化クラブ会員を対象とします。



### 実施要領

◆日時:9月12日(水) 午前9時

近鉄奈良駅・行基前集合

◆参加費：2000円（バス代に充当）  
（博物館等入場料 各200円・別途負担）

◆昼食：弁当持参（弁当定食の予約可）

◆コース

近鉄奈良駅 ⇒ 太安万侶墓 ⇒ 光仁天皇陵 ⇒  
春日宮天皇陵 ⇒ 唐古・鍵遺跡 ⇒ 考古学  
ミュージアム（昼食） ⇒ 多神社 ⇒ ⇒ ⇒  
⇒ 橿原考古学研究所付属博物館 ⇒ ⇒ ⇒  
⇒ ⇒ ⇒ 近鉄奈良駅（16時頃）

◆参加申込：歴史文化クラブ・古川祐司

### 平成24年・7月度 幹事会報告

- ◆日時：平成24年7月3日(火)  
17:15~20:15
- ◆会場：中部公民館
- ◆出席者：幹事16名、顧問2名
- ◆案件：
  - ① 会員数 132名
  - ② 会員名簿の管理について(発行する)
  - ③ 交通費の支給基準の確認について
  - ④ 新しく取り組む第5地区の整備
  - ⑤ 会の新ホームページについて
  - ⑥ その他

### ペン画に寄せて 境 寛

薬師寺の南側駐車場の東よりから、薬師寺の双塔が見られます。カメラマンや絵画のスケッチに賑わうところですが、現在東塔は約110年ぶりの解体修理が始まり、覆いで見ることができません。

奈良・薬師寺の国宝・東塔（8世紀前半ごろ、高さ34メートル）の最上部にある装飾「水煙（すいえん）」は、塔の別名「凍れる音楽」の象徴ともされ、天人が横笛を吹きながら雲間を舞う透かし彫りで有名です。

## 編集後記

◆【ならやま景観整備】活動が、梅雨による天候不順のため、2週に渡り中止となりました。雨の上がるのを待って畑の整備や草刈作業に取り組んでいただいた方たちもおられます。梅雨明け後の7月19日、51名の皆さんが参加され、クイズ正解者の抽選会開催。景品の宿籬南瓜に大歓声!!!

◆佐保台の元気っ子達や会員の皆さんが植えた水稲も順調に育っています。

◆山と森林の月間協賛イベントに、県内各地から50名を越える参加者がありました。子ども達が「ならやま」について、どのような印象を持ってくれたのか、興味津々です。次号に掲載しようと思っています。

◆7月号の「奈良学&難読野菜名」クイズに多数の方からご応募いただきました。

正解は、次のとおりです。

- 【問1】秋篠寺 【問2】 ①ちしゃ(レタス)  
②しょうが(はじかみ) ③へちま

正解者は、青木幸子・吉村さつき・坂東久平・池田富子・守口京子・永井幸次・田中暉英の皆さんでした。 (里山人)

### 申し合わせ事項



ならやま環境整備活動や野外行事は、前日午後7時前のNHK TV天気予報で、降水確率が午前60%以上の場合は中止になります!!



### 奈良・人と自然の会 会長 藤田 秀憲

Mail : narayama@nature.com  
http://www.naranature.com



#### 9月号の印刷・発送予定について

日時：平成24年8月28日(火) am 9:00~  
場所：奈良市ボランティアセンター  
奈良市法蓮町1702-1 TEL0742-26-2270  
※皆様方のご協力をお願いいたします。



会報誌[ネイチャーなら]編集チーム・代表  
鈴木 末一

Mail : narayama@nature.com